

令和3年度第3回北海道地方独立行政法人評価委員会試験研究部会 議 事 録

1 開催日時

令和3年8月5日（木） 14時00分～15時00分

2 開催場所

オンライン開催（道庁本庁舎11階共用会議室）

3 出席者

【評価委員】

部会長	安藤 誠悟	（弁護士、弁理士）
委員	乙政 佐吉	（国立大学法人小樽商科大学 商学部教授）
委員	木原真由美	（中小企業診断士）
委員	玉腰 暁子	（国立大学法人北海道大学大学院 医学研究院教授）
委員	山本 一枝	（株式会社ウェザーコック 専務取締役、 一般社団法人北海道中小企業家同友会産学官連携研究会 （HoPE）共同代表）

【事務局】

北海道総合政策部次世代社会戦略局科学技術振興担当局長	佐藤 充孝
〃	科学技術振興課主幹 大島 司
	主査 青木 祐道
	専門主任 南部 寛子

4 議事

- （1）令和2年度地方独立行政法人北海道立総合研究機構の業務実績に関する評価結果（案）に対する評価委員会意見について
- （2）令和2年度地方独立行政法人北海道立総合研究機構の財務諸表に関する知事承認に対する評価委員会意見について
- （3）その他

5 配付資料

- 資料1 令和2年度地方独立行政法人北海道立総合研究機構の業務実績に関する評価結果（案）の概要
- 資料2 令和2年度地方独立行政法人北海道立総合研究機構の業務実績に関する評価結果（案）
- 資料3 令和2年度業務実績報告書
- 資料4 令和2年度財務諸表の概要
- 資料5 令和2年度財務諸表等（財務諸表、事業報告書、決算報告書、監査報告書）

6 議事内容

令和2年度地方独立行政法人北海道立総合研究機構の業務実績に関する評価結果（案）に対する評価委員会意見について

ア 事務局から資料2に基づき説明

イ 審議結果

本件に関する評価委員会の意見については、「コンプライアンスの徹底に当たっては、これまでの取組の効果等を十分に分析し、効果的な方法を講ずべきである」とし、評価委員会の答申として知事へ提出することとした。

ウ 主な発言・質疑等

〔山本委員〕 新型コロナウイルス感染症の影響は長期化するおそれがあり、道内企業は大変苦勞しているため、道総研が研究、技術支援の両面で企業を支援し、新型コロナウイルス感染症に強い業態を作っていくという趣旨の意見を付すべきである。

〔木原委員〕 コンプライアンスの徹底に当たっては、これまでの取組の効果等を十分に分析して、効果的な方策を講ずべきである。

令和2年度地方独立行政法人北海道立総合研究機構の財務諸表に関する知事承認に対する評価委員会意見について

ア 事務局から資料4に基づき説明

イ 審議結果

本件に関する評価委員会の意見については「意見なし」とし、評価委員会の答申として知事へ提出することとした。

ウ 主な発言・質疑等

〔山本委員〕 経常利益の要因の一つとして、オンライン会議の開催により旅費が減少したということであったが、今後も同じ状況になると思われるため、ITを強化するなどの機器購入に使っていただきたい。